



膨らみかけたイチゴに止まるミツバチ＝4日、杵築市守江



問④

きょう啓蟄

5日は二十四節気の「啓蟄^{けいちちう}」。次第に暖かくなり、冬ごもりをしていた虫が外に出てくる頃とされる。

杵築市守江の「浜いちご園」では4日、イチゴを栽培するビニールハウスの中でセイヨウミツバチがせわしなく飛び回り、花の蜜を集めていた。

ハウス内に巣箱を置き、ハチが花から花へ移動することで受粉を助けている。

農園長の佐藤純一さん(44)は「受粉したイチゴは大きく形が良いものになりやすい。きれいなイチゴができるのはミツバチのおかげ」と話した。

大分地方気象台によると、5日は低気圧や前線の影響により、県内全域で雨が降る。雷を伴う所もありそう。最高気温は10～12度の予想で、平年よりやや低い見込み。

(江藤成吾)

